

キャタピラー

令和4年度（公社）建設荷役車両安全技術協会

適用範囲		モデル名		308 SR		
		仕様		標準仕様		
		適用号機		GK80001～		
区分	検査箇所	検査項目（条件）	単位	検査基準値		
エンジン	エンジン本体	エンジン回転速度		min ⁻¹	1900-2050	
		ハイアイドルリング		min ⁻¹	1050-1140	
		ローアイドルリング (冷却水温)		(°C)	55±5	
		(作動油温)		(°C)		
	弁すき間					
	吸気弁 隙間		mm	0.13-0.17		
	排気弁 隙間		mm	0.13-0.17		
	(測定条件)		(°C)	(冷態時)		
	圧縮圧力又は気筒 間圧縮圧力差		kPa	464-319		
	(冷却水温)		%	10以下		
	(回転速度)		(rpm)	250		
	燃料装置	噴射ノズルの燃料噴射 開始圧力		kPa kgf/cm ²	34474	
	冷却装置	ファン駆動ベルトの張り [測定位置・条件] (中間を指で押す力) kgとNの両方で表記		mm N・m kgf	10～12 0.1kgf/20mm間押し付け力98N	
走行装置	走行性能	最高速度		秒	16 エンジンハイアイドル高速モード 20m走行	
		[測定方法・条件]				
	(クローラベルト)	ゴムベルト	張り(たわみ量)		mm	30-35 アイドラーキャローラ間 (図1)
			[測定方法・条件 (図面番号表示)]			
L・D寸法						
鉄シュー	張り(たわみ量)		mm	55-65 アイドラーキャローラ間 (図1)		
	[測定方法・条件 (図面番号表示)]					
	リンクピッチの伸び		mm	(トラック アジャスタ)		
	[測定方法・条件]					
	履板取付けボルト 締付けトルク		N・m kg・m	160±30		
	[測定方法・条件]					

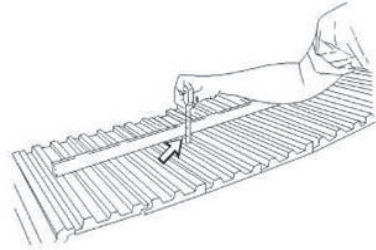
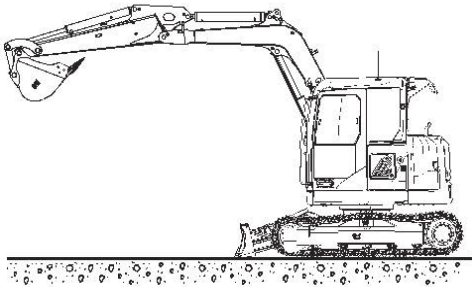
キャタピラー

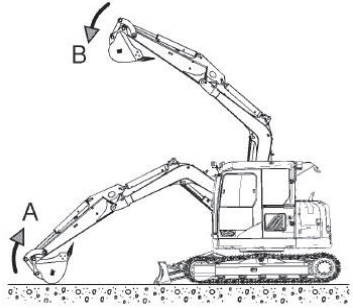
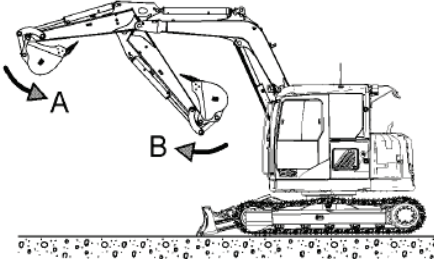
令和4年度（公社）建設荷役車両安全技術協会

適用範囲		モデル名		308 SR	
		仕様		標準仕様	
		適用号機		GK80001～	
区分	検査箇所	検査項目（条件）	単位	検査基準値	
作業装置	作業機自然降下	バケット先端位置 (測定時間)		mm (分)	
		(作動油温)		(°C)	
		作業装置姿勢 (図面番号表示)			
	シリンダ自然伸縮	ブームシリンダ		mm	4.5
		アームシリンダ		mm	12
		バケットシリンダ		mm	6
		ブレードシリンダ		mm	5
		(測定時間)		(分)	3
		(作動油温)		(°C)	55±5
		作業装置姿勢 (図面番号表示)		(kg)	図2
	バケット荷重			375	
作業機速度	ブーム伸ばし		sec	4.1	
	縮め		sec	3.7	
	作業装置姿勢 (図面番号表示)			図3	
	アームシリンダ伸ばし		sec	4.2	
	縮め		sec	3.0	
	作業装置姿勢 (図面番号表示)			図3	
	バケットシリンダ伸ばし 縮め		sec sec	3.0 2.3	
作業装置姿勢 (図面番号表示)		(°C)	55±5		
油圧装置	油圧回路設定圧力	主回路設定圧力 (P1/P2)	kPa kgf/cm ²	28500±1000	
動力伝達装置	旋回ベアリング取付けボルトの締付け	アウトレース取付けボルトの締付けトルク	N・m kgf・m	240±40	
		インナレース取付けボルトの締付けトルク	N・m kgf・m	240±40	
	旋回減速機取付けボルトの締付け	油圧モータ取付けボルトの締付けトルク	N・m kgf・m	270±40	
		旋回減速機取付けボルトの締付けトルク	N・m kgf・m		
備考					

★印：新車基準値を表す。

適用範囲		モデル名	308 SR		
		仕様	標準仕様		
		適用号機	GK80001～		
区分	検査箇所	検査項目（条件）	単位	検査基準値	
動力伝達装置	クレーン時の旋回速度	クレーン時	3回転（秒）	45±3	

項目	測定方法
<p>図No.1 履帯張り（たわみ量）</p>	<p>1. ㊦イドラからキャリアローラまで届く角材をトラックの上に置く。 2. ㊦バックシュー上面と角材下面の最大たるみ量が40～50mmあればトラックは正しく調整されている。 尚、張り調整時はトラック周りに付着している土砂などを取り除いてから実施すること。</p> 
<p>図No.2 シリンダ自然伸縮</p>	<p>測定条件 1. 機体を平坦地におき図のようにする 2. ㊦ケットは空にする 3. ㊦エンジンを停止する</p> <p>測定要領 ブームシリンダ、スティックシリンダ、バケットシリンダ自然降下 1. ㊦エンジンを始動する。 2. ㊦ケットシリンダを伸びエンドから10mm縮める。 3. ㊦スティックシリンダを縮みエンドから10mm伸ばす。 4. ㊦スティック先端ピンをブームフットピンと地上から同じ高さにする。エンジンを停止する。</p> 

項目	測定方法
<p>図No.3 作業機速度 ブームシリンダ</p>	<p>測定要領 バケットシリンダ最大伸長、スティックシリンダ最少収縮にし、</p> <p>A.伸び試験・・・バケット接地状態からブームシリンダ伸びエンド迄の作動時間を測定</p> <p>B.縮み試験・・・ブームシリンダ伸びエンドからバケット接地迄の作動時間を測定</p> 
<p>図No.3 作業機速度 スティックシリンダ</p>	<p>測定要領 ブームの上面を平行に保つ。バケットシリンダ伸びエンドにし</p> <p>A.伸び試験・・・スティックシリンダ縮みエンドから伸びエンド迄の作動時間を測定</p> <p>B.縮み試験・・・スティックシリンダ伸びエンドから縮みエンド迄の作動時間を測定</p> 

項目	測定方法
<p>図No.3 作業機速度 バケットシリンダ</p>	<p>測定要領 ブームの上面を地面に平行にし、スティックを垂直に立て</p> <p>A.伸び試験・・・バケットシリンダ縮みエンドから伸びエンド迄の作動時間を測定</p> <p>B.縮み試験・・・バケットシリンダ伸びエンドから縮みエンド迄の作動時間を測定</p> 